

Beside you

CONTENTS

... あなたのそばに ...

- P 2 特集 これからの地域福祉活動
～知恵を出しあい工夫しよう～
- P 5 大月市障がい者福祉の会
- P 6 掲示板
- P 8 ボランティアだより
- P 10 地域福祉推進大会
- P 11 老人大学 53 期生募集
- P 12 おおつきで頑張る若者



表紙写真：障がい者福祉の会「部会活動」
(関連記事 P 5 をご覧ください。)



これからの「地域福祉活動」を考えていくために！



【写真】まちなかカフェ まどい（健康体操をしている様子）

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、約2年になりました。この間、全国を対象とした緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用され、人とひとの接触を減らす措置が多くとられるなど、人々の暮らしも大きく変容してきました。

このような状況の中、地域活動においては、様々な活動が自粛を余儀なくされるなど、地域における人々のつながりにも大きな影響を与えています。

しかし、いま地域では、多くの「活動を再開してほしい」という声に応えるように、今までの活動方法に工夫を加えて実施する活動が出てきています。また、新型コロナウイルス感染者の減少傾向が見えてきたことから、感染症対策をしながら活動を再開するなど、多くのことが動き出してきました。

そこで本号では、動き出している地域の活動を紹介させていただき、それぞれの地域における今後の活動について、みんなで考え、つながりを途切れさせないような「地域づくり」を実践していく契機にしていきたいと思っています。

地域活動紹介

ふれあい・いきいきサロン活動

ふれあい・いきいきサロンでは地域の方々が主体となり、地区の公民館等で交流や体操、趣味の活動などを通して「仲間づくり」「生きがいづくり」「閉じこもり防止」「健康づくり」の場として、いわば「現代版のお茶飲み場」と進展してきました。サロン活動の特性上、感染症予防とは対極な関係となっているため、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、活動を中止しているサロンも多くあります。

最近の感染状況の改善やワクチン接種が進んだことから活動を再開するサロンも多くみられるようになりました。しかし、今まで通りのサロン活動とはいかず、マスクの着用の徹底や手指消毒、こまめな換気などといった基本的な感染予防対策をするとともに、活動時間の短縮やペットボトルや個別包装のお菓子などを用意して会場での飲食はせず家に持ち帰ってもらうなど、それぞれのサロンで工夫して感染に気を付けながらの活動をしています。



サロン関係者からは「短い時間でもみんなの顔を見て話ができるとうれしい」「家にいる機会が多くなってしまうけれど、外出する機会を作ることができて良かった」といった声が聞かれています。

また、まだ再会できていないサロンについても定期的に参加者の家を訪問して声をかける友愛訪問を実施するなど新たな取り組みもしています。

おおつきお助け隊

「買い物同行支援」の再開

「日常生活のちょっとした困りごとをお手伝い」をコンセプトに活動していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に活動を中止していました。予防法などが分かってきた一昨年夏ころには外の活動（草取りなど）や家の中の簡単な作業などは再開して活動してきました。しかし、買い物同行支援については利用者を車に乗せて買い物に行く支援のため密が避けられず、利用者からの要望が多かったものの予防の観点から再開できていませんでした。



最近の状況で感染が落ち着いてきたこともあり、昨年12月10日より買い物同行支援を再開しました。再開にあたり感染予防の徹底のため体温計や消毒液を用意し、利用者の乗車時などに検温や手指消毒を実施しています。また、乗車中は窓を開け換気をするなどの感染予防対策を施して利用者、隊員双方の安全の確保を実施しています。

買い物同行支援だけでなく、日常の困りごとについてもこれまで通り行っています。「ちょっとしたことだけど自分だけではできない。」といったことがありましたら、まずはご相談ください。



▲神棚の清掃の様子

まちなかカフェまどい

代表の佐藤千代美さんを中心に、スタッフのみなさんと創意工夫しながら実施している「まちなかカフェまどい」。参加者には大変好評で居心地の良い居場所を提供しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてしばらくお休みしておりました。

しかし、感染者数の減少やワクチン接種が進んだことから、令和3年11月中旬より活動を再開しました。開催の際には、手指の消毒と検温、血圧測定を行い、今まで以上に自分の健康について気遣うようになりました。会場では換気を充分に行い、ソーシャルディスタンスを保ちながら体操等を実施し、飲食については、お茶を飲む程度にしています。一人一人の新型コロナウイルス感染症に対する意識も高くなっているようです。

参加者からは「新型コロナウイルス感染症の情報を気にして感染予防を意識するようになった」「気心知れたみんなでおしゃべりできることは、やはり大変楽しい」「家にいることが多く運動できなかったので、体操で体を動かすことができ気分も良いです」といった声が聞かれています。

「今後も、新型コロナウイルスの感染状況

をみながら、参加者の居心地の良い場所となるように、スタッフのみなんで、取り組んでいきたいです」と代表の佐藤さんも意気込んでました。



▲まどいのスタッフ

「地域活動の継続に向け、新しい形での取り組み方法などを、みんなで考え、人とひとつながりをはじめ、様々なつながりを途切れさせない地域を創っていきましょう！」



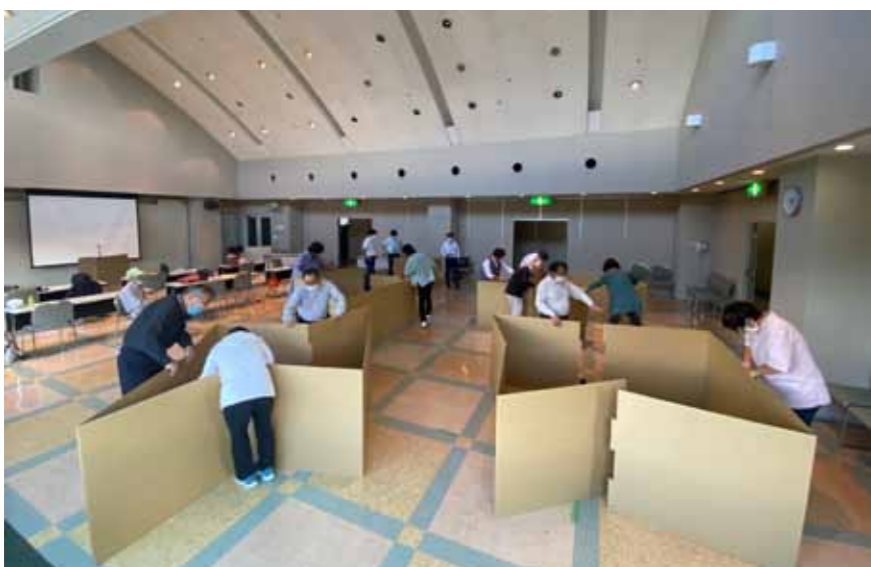
防災研修会

避難所段ボール間仕切りづくり

9月に予定していた防災研修会は、コロナ患者急増となり10月15日(金)に延期となりましたが、多くの役員の参加がありました。

研修会は出前講座として、市総務管理課の3名の職員を講師にお招きし、市内の過去の災害(台風・線状降水帯による土砂崩落、大雪)の被害状況や、大月で想定される災害はどのような事かなどを分かりやすくご説明いただきました。

講演のあと、避難所で使う「段ボールの間仕切り」を実際に自分たちで作ってみました。3分ほどで仕切りは出来上がりました。家族3人程が寝転がることのできるスペースで、座ると頭までかくれるほどの高さがありました。今後、会員の皆さんにも体験していただけたら、災害が予想される時の「避難所へいこう！」という時の心構えになるのではないかと思います。



『各部会活動の紹介』

コロナも一時おさまったかな、と感じられた秋、2年ぶりとなる活動(社会見学)を行いました。会全体の活動では100人超となつてしまつたため、部会ごと少人数で活動することとしました。

身体障がい者部会は、11月6日(土)、須玉の「3代校舎ふれあいの里」や、明野のりんご園(表紙写真)で、素晴らしい秋晴れの中、紅葉を見ながら一日を過ごすことができました。

また、知的障がい者部会は、11月28日(日)、山梨県立博物館を見学し、フルーツパーク富士屋ホテルの昼食ではテーブルマナー体験で舌鼓。みなさん、久しぶりに会う友人たちとの交流を楽しんでいました。



▲知的障がい者部会(フルーツパーク富士屋ホテル)

掲示板

● 真木町連老人クラブの活動紹介 ●

「グラウンドゴルフ体験会」

秋晴れの11月14日。旧西小のグラウンドに真木老人クラブ会員48名が集い「グラウンドゴルフ体験会」が開催された。コロナ禍の中、クラブも思うように活動が出来ず、会員も引きこもりがち。「早くみんなと会って、おしゃべりがしたいよう」「毎日テレビの番じゃ本当にぼけちゃうよ」・「いよいよそんな声が聞こえてくる。幸い新たにグラウンドゴルフを愛好されている方が何人も入会された。コロナもかなり収まっている。チャンス！」

市の教育委員会から用具をお借りし、市社協からゼッケン・放送設備をお借りし、ボランティア保険にも入って準備万端。前半は経験者の説明、(わかったんだか、わかってないんだか?)、続いての模範プレーに拍手沸き、いよいよミニゲーム。皆、真剣そのもの。好プレーに大歓声。とんでもない方向に打って大笑い。久しぶりに集まって体を動かし皆、生き生き。真木老人クラブ活性化の第一歩を踏み出すことが出来た。高齢者同士の友好。助け合いが益々求められる時代。これからも集まる機会を多くして皆で楽しみたい。そんな思いにさせてくれる一日だった。ご協力頂いた方々に多謝。

真木老人クラブ 会長 小林 幹夫



山梨県老人クラブ連合会

グラウンド・ゴルフ大会

第14回グラウンド・ゴルフ大会が、甲府市小瀬JITスタジアムにて、県内の老人クラブ所属の52チーム260人が参加し、11月10日(水)に開催されました。

新型コロナウイルス感染症の為、2年ぶりの開催となりましたが、参加選手の皆様は、検温・手指消毒やマスク着用など感染対策を実施しながら、日頃の練習の成果を思う存分発揮していました。大月市からは3チームが出場し、個人の部では、山崎信男選手が個人優勝、団体戦では大月市グラウンド・ゴルフクラブBチームが3位入賞の好成績を収めました。参加の皆様、お疲れさまでした。

▲個人優勝の山崎選手
「個人優勝おめでとうございます！」



猿橋地区伊良原

サロン開設10周年記念会

を開催しました！

猿橋地区伊良原にある「いらばらサロン」は今年で10周年を迎え、記念会を開催して、今までの活動を振り返りながらみんなで10周年の喜びを分かち合いました。また、当日は朗読ボランティア「如月の会」の朗読を披露していただき、楽しい時間を過ごしていました。代表の安藤久子さんは「めでたく10周年を迎えることができました。これも参加して下さる方たちが毎回楽しみにしてくれているからです。最近はコロナの影響で思うような活動ができていませんが、みんなが楽しめるサロンを目指して15周年、20周年と続けていきたいと思えます。」とおっしゃっていました。

サロンの参加者の減少や後継者不足から継続が困難なサロンもあります。地域で集える場として、これからも続けてほしいです。



3地区社協合同

「共同募金運動のための植栽活動」

例年、10月1日より始まる赤い羽根共同募金運動の一環として、「大月東小学校児童との交流作業」を行ってききましたが、夏はコロナ患者急増となり、児童や参加者の健康・安全面を第一に考慮し、交流作業は昨年度同様に中止しました。

小学校児童との交流作業はできませんでしたが、小学校内にて児童のメッセージを入れたいプランターの作成のご協力をいただき、後日、3地区(真木・大月・賑岡地区社協)合同により「赤い羽根共同募金の理解啓発と地域福祉の推進」のため、植栽活動を行い各地域に設置しました。

地域のあちこちにかわいいパンジーの花が咲いています。児童のメッセージも、ぜひご覧ください。



ボランティアだより

傾聴ボランティア講座

の受講者を募集します！

「聴く」技術を身につけよう

現代社会では、メンタルヘルスケアへの対策が課題となっています。その対策としても「傾聴」を学ぶことは老若男女にかかわらず、すべての人々にとって重要なスキルです。

聴くという行為は、相手を尊重し、元気にします。温かく寄り添って、胸のうちを聞いてくれるボランティアの来訪はお年寄り等にはとても嬉しく心強い存在です。楽しかった思い出を語ったりするうちに、老いや病を受け入れ、安らぎを覚える人もいます。

傾聴を学ぶ効果として、自分自身が成長し、家庭・職場・ボランティア活動の場など、人とかかわる様々な場面で良い波及効果を生みます。

この講座では、傾聴の基本を学び、自分自身の成長や変化に気づき、次の一歩を踏み出し、ぜひ人とかかわりに活かしてください。

「人と人のつながり」が大事なボランティア活動をしていく上で、必要なこの技術を学びましょう。皆さんの「やりがい」を見つけてみませんか？

○申込み 令和4年2月10日(木)までに左記までお申し込み下さい。

大月市社会福祉協議会 ボランティアセンター 地域福祉担当
TEL: (23)2001 FAX: (22)2861

・開催日 令和4年2月24日(木)・3月3日(木)

・会場 大月市総合福祉センター3階 研修室

・受講生 10名 (受講料は無料)

・講師 山梨県傾聴ボランティア連絡協議会

塩澤 一夫氏

令和3年度

「手話奉仕員養成講座基礎編」

10月26日に修了しました！

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行う中で、手話講座を開催しました。

本来ならば4月～翌年3月まで全40回講座にて「入門・基礎編」を実施するところですが、今年は昨年度の入門編の後半分の基礎編のみを行いました。

半年間ではありましたが、その間、東京オリンピックパラリンピックもあつたことから、テレビ画面に映る手話にも興味を持ちレポートを発表するなど、受講者の皆さんは真摯に手話、聴覚障害について学んでいました。皆様の今後の活躍を心からお祈りいたします。

新年度の講座も4月から毎週火曜日の午前に予定しています。講座の募集については、改めてお知らせさせていただきます。どうぞ楽しみに！



ボランティアグループ紹介と利用者の募集

傾聴ボランティアグループ

「つゆくさの会」

「利用してみませんか？」

傾聴ボランティアは、字句どおり相手のお話を「傾聴」するボランティア活動です。

「つゆくさの会」では、一人暮らし高齢者などのお宅に二人一組で訪問し、お話を聴かせていただいています。利用されている方からは、「皆が来てくれるから生きる元気が出る」「今度はいつ来てくれるの」など、活動の源になるような嬉しいお声をいただいています。

話したいけど様々な理由から「話したくても話せない(話す機会がない)」方が増えていきます。1回1時間程度で、月1〜2回ぐらいの訪問です。費用は無料です。

ご利用希望の方、また活動に興味のある方は、ぜひ市社協事務局までご連絡ください。



音訳ボランティアサークル

「声」

「音訳CD (広報・議会だより・社協だより) 利用してみませんか？」

「声」は音訳(文字などを「音声」に換えて伝える)を目的とした活動です。

毎月発行される「広報おおつき」・年4回の「市議会だより」「社協だより」を音訳し、「声の情報誌」としてCDに録音をしています。活動は、「上手に読む」ことではなく「正しく伝える」ことを意識し続けています。

声の広報、声の議会だより、声の社協だよりをご利用希望の方は、市社協事務局へご連絡ください。多くの方のご連絡をお待ちしています。

○対象：身体障害者手帳(視覚障がい)をお持ちの方。(郵便局の盲人用郵便を利用していただきます)

◎問合せ先 大月市社会福祉協議会

地域福祉担当 TEL: (23)2001

書き損じハガキはありませんか？

年賀状やごあいさつの書き損じはがきや未使用のはがきが眠ってないでしょうか。日本ユネスコ協会連盟(途上国の教育、世界遺産の保全など)、日本盲導犬協会(盲導犬の育成応援)、海外協力支援など、そのはがきの寄付でいろいろな活動を応援することが出来ます。

身近に出来るボランティア活動を始めてみませんか？
ボランティアセンター(市社協内)へお持ちください。

Q. どんなはがきが寄付になるの？

A. 未投函の郵政(官製)はがき

※ 書き損じたはがきも、未投函であれば寄付になります。

※ 古いはがき(年賀はがき、かもめーるなど)も寄付になります。



大月市地域福祉推進大会

を開催しました！

11月19日(金)大月市総合福祉センター6階多目的ホールにおいて、第46回大月市地域福祉推進大会を開催しました。

本年度の大会は、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を表彰者に限定した中で、表彰式のみを行ないました(表彰受賞者は下記のとおりです)。

いま、地域における福祉活動などが、これまでのように出来ない状況が依然として続いており、実施方法の工夫などが必要となっています。

これまで経験したことのない状況ではありますが、「誰もが安心して暮らすことができるまちづくり」を推進できるように、みなで知恵を出しあい取り組んでいきましょう。

地域での懇談会や大会等のイベントが開催できるようになりましたら、参加をよろしくお願いいたします。



◎表彰受賞者

(順不同・敬称略)

■大月市社会福祉協議会会長表彰

- ◎社会福祉事業功労者
- ・天野 ヒサ江(あみだ海いきいきサロン)
- ・天野 春枝(あみだ海いきいきサロン)
- ・天野 いく子(あみだ海いきいきサロン)
- ・上野 ちづ子(あみだ海いきいきサロン)
- ・丸山 昭子(あみだ海いきいきサロン)
- ・天野 藤子(白野いきいきサロン)
- ・今泉 昭子(白野いきいきサロン)
- ・今泉 博子(白野いきいきサロン)
- ・早川 康子(白野いきいきサロン)
- ・吉岡 幸弘(賑岡地区社会福祉協議会)

■大月市社会福祉協議会会長感謝状

- ◎金品寄附
- ・三枝 重夫(大月町)
- ・岡部 善幸(富浜町)
- ・山田 幸男(富浜町)

大月市老人大学 「第53期生」 募集のお知らせ

新たな自分にチャレンジしましょう！

- 募集人数 限定500名
 - 入学資格 市内在住60歳以上の老人クラブ会員
 - 内 容 サークル学習(年15回程度)、全体学習(講演、音楽鑑賞など年5回)遠足と修学旅行(隔年実施)、老大祭(年間成果発表イベント・展示)
 - 学習場所 市民会館、総合福祉センター、大月区民会館、桂川ウエルネスパーク
 - 学習費用 年額8,000円(申込み時に払い込み)
 - 募集期間 **令和4年1月17日(月)～2月19日(土)まで**に所属する単位老人クラブの会長にお申し込みください(地域に老人クラブの無い方は事務局にお問い合わせください)
- *令和4年4月20日(水) 第53期入学式予定(場所:市民会館)



▲老大祭大正琴部



▲コーラス部

【19サークルと充実の講師陣(予定)】

園芸部	木原 吉郎	手芸部	杉本 まつ子	華道部	芳野 豊子
書道部	花田 龍溪	書道部	望月 大耿	詩吟部	小林 かつ糸
舞踊部	東山 夢静	民謡部	今泉 あけみ	大正琴部	富田 昭二
囲碁・将棋部	小泉 皖司	茶道部	天野 宗美	短歌部	花田 規矩男
社会部	小笠原 博慧	ダンス部	加藤 幸一	ダンス部	若野 康子
料理部	加藤 直子	コーラス部	佐々木 加代子	コーラス部	高島 千香
カラオケ部	新海 友也	水墨画部	水越 なつ絵	フラダンス部	カイヤルハナ大鶴
陶芸部	小林 杉雄				

来たれ！老大53期生
充実のシルバーライフは「老大」と共に！

●お問い合わせ 老人大学事務局 電話23-2001(代)
(社会福祉協議会内) 黒部・天野エミ子



ご存じですか？社協のマーク？
このマークは、社協の「社」を
図案化し、「手をとりあって、
明るいあわせな社会を建設す
る姿」を表現しています。

<< 編集後記 >>

新年あけましておめでとうございます。

今年も社協では地域福祉推進のため日々邁進してまいりますのでご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、令和も4年目になりました。月日が経つのは本当に早いもので、1年が年々早くなっている感じがします。皆さんもそう感じることはありませんか？1年が早く感じるのにはちゃんとした理由があるので、「ジャンネーの法則」という心理現象だそうです。ジャンネーの法則によると5歳の人の1日は50歳の人の10日と同じなんだとか…

何でこんなことが起こるのかという脳への刺激が減るからだそうです。子どものころは初めて体験することばかりで、毎日ワクワク・ドキドキしていたと思います。しかし、今はどうでしょう…？この脳への刺激が時間の感じ方を左右しているようです。

本号の特集でも取り上げさせていただきましたが、コロナウイルスが流行して2年。感染予防に気を付けながらも少しずつ通常の生活に戻りつつあります。これを機に新たなことに挑戦してみたいかがでしょうか？

時間の長さはみな平等です。どうせ過ぐすならワクワクするような充実した日々を…。

私も三日坊主になってしまうスポーツでも始めてみようかな。

(地域福祉担当 安藤博行)

いまいずみ わたる

今泉 航 さん (26)

(種子町)



おおつぎで頑張る若者 33

●現在の職業は？

まるたの森クリーンセンター内のテスコ株式会社で働いています。

●大月市の好きなおところは？

地元の白野地区では、ご近所付き合いがたくさんあり、子供からお年寄りまで仲が良いところです。また、自然豊かで東京都内にアクセスが良いところです。

●趣味は？

近所を散歩すること、体を動かすこと、木工作品を作ることです。

●今の仕事の魅力は？

工具や機械の使い方など、今後の人生において役に立つことが学べることです。ゴミの焼却業務は、生活をする上で無くてはならない仕事なので、そのような仕事に携わることができてうれしいです。



この『社会福祉・ボランティアだより』の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われております。

今すぐアクセス！

大月市社協

検索

事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501 大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132